

## 【歴代主任司祭】

初代 1937年6月1日～故 MARCIANO DIEZ

マルシアノ・ディエス師(1,4,6,9,11 代主任司祭)

第2代 1946年～故 MACARIO RUIZ マカリオ・ルイス師

(第2,5 代主任司祭)1981年12月30日アビラ帰天(73歳)

第3代 故 LEONARDO MARIN レオナルド・マリン師

(第3 代主任司祭)1977年10月29日アビラで帰天(70歳)

第7代 故 CIRILO IGLESIAS シリロ・イグレシアス師

(第7 代主任司祭)1973年3月22日バリャドリッドで帰天(73歳)

第8代 故 CARLOS MARTINEZ カルロス・マルティネス師

(第8,12 代主任司祭)2000年5月20日東京で帰天(77歳)

第10代 故 ANTONIO GUTIERREZ アントニオ・グティエレス師

(第10 代主任司祭)聖ドミニコ修道女会ロザリオ修道院在任

第14代 故ヘスス・マテオ・コロナド師(第14 代主任司祭)

2005年4月11日、アビラで帰天(67歳)

第15代 2001年～ハビエル・レチョン師(1年間)高松教区在任

第16代 2002年～ ラファエル・カストロ師(3年間)スペイン在任

第17代 2005年～ イグナチオ・スベロ師(4年間)スペイン在任

第18代 2009年～ ホルヘ・ソーザ師(1年間)高松教区在任

第19代 2010年～ 岩崎武師(3年間)高松教区在任

第20代 2013年～ アルベルト・サイズ師(2年間)担当司祭併任(道後幼稚園園長)、高松教区在任

第21代 2015年～田中正史師(2年間)担当司祭併任

(宇和島教会主任司祭)国内在任

担当司祭不在、2017年4月1日～11月30日

第22代 2017年12月1日～ヨゼフ呉文成師(担当司祭併任)

## 【年間の主な行事】

1月 新年のミサ

3月(4月) 復活祭

6月 宇和島教会・八幡浜教会交流会

8月 平和記念ミサ(聖母被昇天)

9月 献堂記念日

12月 降誕祭

\*毎月第1日曜日 英語ミサ(宇和島教会 15:00)

\*毎月第3日曜日 ベトナム語ミサ(八幡浜 13:00)

【入門講座・聖書講座・結婚式】

直接、担当司祭にお申込みください。

電話 0895-24-4850(宇和島教会)

【所在地】〒796-0088 愛媛県八幡浜市 1128-7

昭和通 FAX: 0894-22-3003



## 【交通案内】

JR: JR 予讃線、八幡浜駅下車、駅前国道 197 号線沿いに西へ歩いて 15 分。

バス: JR 駅前から市内バスに乗り換え大正町下車。歩いてすぐ。

## 【駐車場】

晴天の場合は、教会内に駐車できます。

## 教会案内



疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのものに来なさい。休ませてあげよう。

わたしは、柔和で謙遜な者だから、わたしの轎を負い、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる。

わたしの轎は負いやすく、わたしの荷は、軽いからである。  
(マタイ 11:28-30)

カトリック高松教区カトリック八幡浜教会

## カトリック八幡浜教会の歴史

### 【八幡浜教会に宣教が行われるまで】

1564年 イエズス会ビレラ神父、ロレンソ・ダミアン修道士の二人の日本人修道士が四国に最初に訪れた。

1565年 イエズス会フロイス神父、アルメイダ修道士、他4名が1月15日伊予堀江の港に到着。8日間滞在し、6名に洗礼を授けた。最初の伊予の信者である。

1575年 土佐の大名一条兼定は、臼杵で兼定はファン・パウティス・デル・モンティ神父から受洗し、パブロー一条兼定となった。伊予大洲梶屋谷で2年ほど隠遁し、土佐に戻った。

1585年 四国で2名のうちの1人のキリシタン大名、パブロー一条兼定悪性の熱病で死去。

1600年 キリシタン武士稲垣長右衛門は、1632年まで宇和島伊達藩主に仕えた。

1569年～1871年 四国での宗門改めが続いた。

1615年 松山の大名加藤嘉明の家臣シモン佐兵衛は伊予入りする神父たちに常宿を提供し、ディエゴ神父が訪れた際神父らとともに捉えられ、4月20日斬首された。

1624年 伊予では、1200名の信者がいたとされる(レオン・パジエス証言)。

1643年 伊予道後に教会と神父間が存在した。

1658年 伊予大洲には1-2名、宇和島には2-3名の信者がいた。(高松、松平藩主文書)

1845年 ローマ法王庁はフォルカード神父を初代日本教区長に任命。

1867年 6月14日64名が、長崎で捉えられた。その後長崎浦上四番崩れで3000-4000余名が流刑となり四国は三津浜港から伊予、阿波、土佐、讃岐藩にも381名が配流、内78名が虐待

で死亡。世界に報道された。邪宗門高札は四国でも行われた。

1882年 パリ外国宣教会ミノ・プレス神父、大阪から高知に向かい、四国最初の福音宣教を行った。その後22名の宣教師が四国(徳島、高知、松山、宇和島)で働き、275名が洗礼を受けた。

### 【八幡浜教会の沿革】

1895年 イシドロ・シャロン神父は、八幡浜、岩松を訪問した。

1896年 この頃、イシドロ・シャロン神父は大洲に伝道士をおき、ルルドの水を病人に与えた。

1903年 ドミニコ会ロザリオ管区はジュール・オーグスト・シャロン大阪司教は四国地区を担当した。

1904年 1月27日ローマ法王庁は、四国全域を四国使徒座知牧区として新設、大阪教区から独立させ、ドミニコ会ロザリオ管区に委託し、2月26日、ロザリオ管区ホセ・アルバレス神父を初代知牧区長に任命。8月ミラン・ドミンゲス神父(宇和島)が着任。

1906年 ファン・カルボ神父は、300年前の日本人の信仰が見いだせないと管区報告に記述した。

1918年 マカリオ・ルイズ神父(1969年四国キリシタン史を刊行、本歴史の主要引用文献)

1932年 八幡浜高等女学校校長に、松山高女教頭であった吉田先生が八幡浜高女前の校宅に8人家族で住んだ。

1933年 宇和島教会のイシドロ・アダネス神父が八幡浜を巡回しミサを行った。

1935年 裁判所通り借家を「八幡浜カトリック教会」とした。

長崎で受洗礼した伊崎貞子氏が八幡浜教会付となった。

イシドロ・アダネス神父とマルシャノ・ディアス神父が交替で、宇和島からミサと日曜学校に巡回され、最初の洗礼があった。

1937年 マルシャノ・ディアス神父、初代主任司祭に着任し、新しい借家に教会を創立した。八幡浜霊籍で第1号誕生。

1941年 戦時中、マルシャノ・ディアス神父は、イシドロ・アダネス神父と共に、主に宇和島に在住した。

1943年 八幡浜、昭和通り、裁判所通りに家を購入した。

1949年 松陰小学校跡地の現教会場所を入手し賄部屋を建設した。

1950年 昭和通りに教会、附属幼稚園新築落成し、9月2-5日、八幡浜教会献堂式。11月1日、幼稚園が開園した。

1952年 八幡浜教会で100人目の洗礼があった。

1954年 八幡浜聖母幼稚園を改築した。

1968年 八幡浜教会信者会報が発行開始された。

1969年 愛媛地区信徒使徒職協議会が発足した。

1990年 八幡浜教会50周年記念ミサが開催された。

2017年 八幡浜教会小教区創立80周年記念ミサを開催。

2018年 八幡浜教会でベトナム語ミサ、月1回開催。



初代主任司祭の碑